

広域的地域活性化基盤整備計画【事後評価】

きた かんとう どう およ とうほくどう えんせん ちいき
北関東道及び東北道沿線地域

とちぎけん
栃木県

関係市町村

うつのみや し あしかがし とちぎし さのし かぬまし おやまし もおかし おおたわらし やいたし
(宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、さくら
市、

なす からすやま しもつけし かみのかわ まち ましこ まち もてぎ まち いちかいまち はが まち みぶまち のぎまち しおや
那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、塩谷
町

平成27年7月

目次

○ 広域的地域活性化基盤整備計画の目標および計画期間	1
○ 拠点施設	2～ 6
○ 広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性	7
○ 交付対象事業等一覧	8～ 9
○ 拠点施設・重点地区	10～ 14
○ 整備方針概要図	15
○ 事後評価	16

広域的地域活性化基盤整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	計画の名称	北関東道及び東北道沿線地域
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度

広域的特定活動

北関東自動車道の全線開通や東北自動車道へのスマートICの設置を契機として、高速道路から各観光資源に至る観光ネットワークの広域化・高速化を実現する。また、観光ネットワークで拠点施設として機能している道の駅に対して、サイクリングロードや地域の特産品などの地域資源を活用した新たな機能の充実・強化も実現する。これにより、新たな観光需要の喚起と各観光施設間の連携・強化を図る。

目標

高速道路網のICへのアクセス道路の整備と観光拠点である道の駅の機能強化を図ることにより、安全・安心・快適な観光ネットワークの形成を図り、新たな観光振興による地域活性化を図る。

目標設定の根拠

経緯及び現況

観光を支える交通基盤では、北関東道については、群馬-栃木-茨城間がH23年3月に全線開通した。東北道のスマートICについては、上河内SA及び那須高原SAにおいて、H19にハーブICでの供用を開始し、アクセス道路が整備され、H22年12月にフルIC化した。また、佐野SAにおいても導入に向けたアクセス道路の整備に着手し、H23早期の供用開始を目指している。このことにより、観光ネットワークの広域化・高速化への準備は整いつつある。
観光客入込数については、平成19年(2007)は全県において7,674万人(対前年比99.6%)だが、そのうち日光国立公園内の観光客入込数が1,746万人で県全体の22.8%となっている。また、道の駅への観光客入込数は887万人で対前年比108.5%と近年の観光動向を反映し年々伸びている。

課題

高速道路網の整備により観光ネットワークの広域化・高速化が図られるため、これらを活用した観光の振興は大きな課題であり、その解決のためには、下記の取組が必要である。
・高速道ICから観光拠点へのアクセス道路及び観光拠点間の周遊道路の整備促進による観光ネットワークの広域化・高速化
・観光ネットワークの広域化・高速化を活用し、日光国立公園に集中する観光需要を当該区域の観光拠点まで周遊できる観光エリアの拡大

将来ビジョン(中長期)

高速道路網の整備とそれに併せたICや観光拠点施設とのアクセス強化が図られることにより、沿線の地域資源を最大限に活かした交流・連携が一層促進され、本県総合計画「とちぎ元気プラン」が目指す「多くの人たちが活発に交流する、魅力と活力に満ちた“観光とちぎ”づくり」を推進する。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
観光客入込数	万人	計画地域に来訪した観光客数	観光の活性化を目指す指標として入込客数を設定	5,336	H19	5,800	H26
道の駅での売上げ額	億円	計画地域の道の駅での売上げ	交流促進による地域の活性化の指標	50	H19	60	H26

拠点施設

施設名	安足地域の観光交流施設群	所在地	足利市・佐野市・栃木市・岩舟町
設置主体	公共・民間・団体	管理・運営主体	公共・民間・団体
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第二条第2項二
広域的特定活動の区分	第二条第1項口	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>本地域は、東京圏から70km圏内に位置し、東北道と国道50号がクロスする交通の要衝であり、2つの道の駅(どまんなかたぬま、みかも)を拠点として年間1320万人(H19/関係市町)の観光客入込数である。地域内の足利学校、県営みかも山公園や大型商業施設などの多くの地域資源とともに周辺の道の駅思川、小山城址公園や渡良瀬遊水地などの観光資源に恵まれ、東京圏に近接した地理的優位性を活かして、首都圏のオアシスとして観光客入込数は増加している。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>様々なジャンルの多くの地域資源に恵まれ順調に観光客は増加しているものの、東北道佐野ICや北関東道各ICとのアクセスが脆弱なため地理的優位性を活かしてきていない状況にある。北関東自動車道のH23全線開通により東北自動車道を含めた高速道路網が整備されることから、基幹事業である道路事業や関連事業の東北道佐野スマートIC事業の実施により各ICと拠点施設とのアクセス強化が図られ、格段に広域交流が促進される。</p> <p><目標と広域的特定活動・拠点施設との関係></p> <p>高速道路網の整備に併せたICと拠点施設を結ぶアクセス強化による利便性の向上と拠点施設の充実が実現されれば、地理的優位性を活かした観光交流が促進され、食の安全が叫ばれる中で、これまで以上に地域の名産・特産品が脚光を浴び、拠点施設を中心にした経済活動も活発となり、地域の活性化が期待される。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>本地域の多くの拠点施設では、地元の新鮮な農産品をはじめ、特産品・加工品を豊富に取り揃え、特に手作りのオリジナル商品や地元食材を活かしたメニューを提供するなど施設の魅力アップに努め、観光客の人気を得ている。また、広域連携も盛んであり、地域を東西に走る両毛線沿線の自治体が連携し、両毛麵街道等のキャンペーンにより東京圏への積極的なPRを行っている。</p> <p><将来></p> <p>本地域では、「食」をメインテーマとして景観・歴史・文化などの地域資源を有機的に結びつける「食の街道」づくりとして「足利佐野めんめん街道(仮称)」と「渡良瀬いちご・フルーツ街道(仮称)」づくりに着手したところであり、これらの成果を拠点施設で活用した観光情報を県内外に情報発信することで広域観光のさらなる振興を図る。</p>			
広域的特定活動との関係			
<p><拠点施設整備の蓋然性></p> <p>整備を必要としない既存施設</p> <p><拠点施設に設定した理由></p> <p>本地域は、JR両毛線沿線地域として生活圏を一つにするとともに、群馬県関係市町とともに組織する両毛広域都市圏総合整備推進協議会の構成自治体として北関東自動車道の全線開通による地域の活性化に一体となって取り組んでいる地域である。このことから、高速道路網の整備を契機に地理的優位性を活かしながら、さらなる観光の振興が期待される。</p>			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	下都賀地域の観光交流施設群	所在地	栃木市・下野市・西方町・壬生町
設置主体	公共・民間・団体	管理・運営主体	公共・民間・団体
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第二条第2項二
広域的特定活動の区分	第二条第1項口	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> 本地域は奈良時代の下野国分寺・尼寺跡(下野市)や明治時代から続くとちぎ秋まつりなどの歴史的・文化的観光資源、思川・とちぎわんぱく公園などの豊かな自然や「おもちゃのまち」(壬生町)の玩具博物館などの産業資源など様々な地域資源に恵まれるとともに東北道と北関東道の結節点という交通の利便性から、年間370万人(H19/関係市町)の観光客入込数である。今後、北関東道の壬生ハイウェイオアシス、国道4号の「道の駅しもつけ」や国道293号の「道の駅にしかた」のオープン控え、さらなる観光客の増加が期待される。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 北関東自動車道のH23全線開通により東北自動車道を含めた高速道路網が整備され、これまで以上に広域的な交流が見込まれる。特に、今後、広域連携の拠点施設として期待されるハイウェイオアシスや2つの道の駅と高速道路ICとの連携強化は課題である。そのため、基幹事業や関連事業を実施することにより、高速道路ICと拠点施設や多くの観光資源へのアクセス並びに周遊機能の強化を図る。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 観光客の利便性は格段に向上し、道路ネットワークの優位性と豊富な地域資源を活かした観光交流が促進され、食の安全が叫ばれる中で、これまで以上に地域の名産・特産品が脚光を浴び、拠点施設を中心にした経済活動も活発となり、地域の活性化が期待される。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> 本地域の拠点施設では、歴史・文化的な地域資源を道路や遊歩道で連携させた「いにしえネットワーク」を形成するとともに地元の新鮮な農産品をはじめ、特産品・加工品を豊富に取り揃え、東京圏からの誘客に努めている。また、おもちゃのまちで有名な壬生町では玩具メーカーと連携し、産業資源を生かした特色ある観光に人気がある。 <将来> 東北道と北関東道が結節する本地域では、北関東道の開通に伴い、これまで以上に広域的な連携が期待される中で、ハイウェイオアシスや二つの道の駅のオープンは、本地域での新たな交流連携の拠点施設として機能し、群馬・茨城両県と連携した広域連携への取り組みも期待される。高速道路と拠点施設相互の連携強化が実現すれば、本地域は、日光、那須への広域観光の通過地点から玄関口として東京圏ばかりか北関東両県からの観光客を迎え入れることができる。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> 整備を必要としない既存施設 <拠点施設に設定した理由> 本地域は、歴史的・文化的なつながりが強く、高速道路網の整備に伴い、東北道栃木IC/北関東道壬生ICからの観光客の周遊が見込まれる地域である。また、今後、ハイウェイオアシスや道の駅など新たな拠点施設の整備も見込まれ、広域観光交流の受け皿として一体的に機能することが期待される。			
重点地区(設定する場合に記述) 			

拠点施設

施設名	鹿沼・宇都宮市の観光交流施設群	所在地	宇都宮市、鹿沼市
設置主体	公共・民間・団体	管理・運営主体	公共・民間・団体
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第二条第2項二
広域的特定活動の区分	第二条第1項口	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> 本地域では、餃子やジャズの街、宇都宮市と木工品や花木の街として知られる鹿沼市を中心にした地域であり、拠点施設となる温泉・宿泊もできる二つの農村交流施設(うつのみやろまんちっく村、前日光つつじの湯)があり、それらを拠点に年間1,610万人(H19/関係市町)の観光客入込数であり、人気のある宮まつりや鹿沼秋まつりなどを活用した街なか観光による中心市街地の活性化に努めている。また、両市とも産業とともに合併後の一体感の醸成を目的に多くの地域資源を活かした観光にも重点的に取り組んでいる。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 本地域では、中心市街地の活性化を目指しまちづくりに取り組んできているが、合併に伴う周辺観光施設を拠点にした広域観光の連携促進も課題である。このため、北関東道の全線開通やH22の東北自動車道上河内スマートICのフル開通を契機に、基幹事業や関連事業による高速道路ICと拠点施設相互を結ぶアクセス・周遊道路の整備を図り、高速道路網の利便性を格段に向上させることにより、今まで以上に本地域の広域観光への連携強化が図られる。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 道路を利用し訪れる観光客のアクセス強化による利便性の向上と拠点施設の充実が実現されれば、地理的優位性を活かした観光交流が促進され、食の安全が叫ばれる中で、これまで以上に地域の名産・特産品が脚光を浴び、拠点施設を中心にした経済活動も活発となり、地域の活性化が期待される。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> 本地域では、まちの駅やボランティアガイドなど官民一体となったおもてなし向上に向けた観光振興施策に取り組んでいる。また、観光交流拠点施設では、地元の新鮮な農産品をはじめ、特産品・加工品を豊富に取り揃え、地域ブランドづくりに熱心に取り組んでおり、餃子の街宇都宮など全国的なレベルに達しているブランドもあり、県内外からの観光客に人気がある。 <将来> 本地域では、「食」をメインテーマとして景観・歴史・文化などの地域資源を有機的に結びつける「食の街道」づくりとして「日光例幣使そば街道(仮称)」づくりに着手したところであり、これらの成果を拠点施設で体験できるとともに県内外に情報発信することで更なる観光振興による地域の活性化に結びつける。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> 整備を必要としない既存施設 <拠点施設に設定した理由> 本地域は、市民生活の上で密接なつながりがあるとともに、合併後の観光振興に対してともに課題を抱えている。高速道路網の整備に伴う観光交流の広域化を活かした観光振興施策を一体的に取り組むことにより、国際観光都市日光の玄関口として、これまで以上の観光交流人口の増加が期待される。			
重点地区(設定する場合に記述)			

拠点施設

施設名	芳賀地域の観光交流施設群	所在地	益子町・茂木町・市貝町・芳賀町
設置主体	公共・民間・団体	管理・運営主体	公共・民間・団体
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第二条第2項二
広域的特定活動の区分	第二条第1項口	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等 <概要及び整備計画> 本地域では、拠点施設となる二つの道の駅(はが、もてぎ)があり、それらを拠点に年間548万人(H19)の観光客入込数であり、さらに一つの道の駅(いちかい)がH23にオープン予定である。また、益子焼き、ツインリンクもてぎ、市貝芝桜公園なども広域観光の拠点となり、年間550万人(H19/関係市町)の観光客入込数である。地域周辺には、道の駅「にのみや」、真岡木綿工房、五行川のさくら堤と真岡鐵道のSLなどの豊富な観光資源があり、中山間地域を抱えるにもかかわらず、東京圏に近接した地理的優位性を活かして、年々観光客入込数を伸ばしている。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 本地域では、北関東自動車道のH23全線開通により東北自動車道を含めた高速道路網が整備され、これまで以上に広域的な観光交流が見込まれるため、基幹事業や関連事業により高速道路ICと拠点施設や豊富な観光資源へのアクセス・周遊道路の整備を図り、本地域の広域観光振興の促進に結び付ける。また、各道の駅と河川堤防を利用したサイクリングロードとの連携を図るとともに防災機能を整備し、道の駅に新たな魅力を創出し、広域観光に対する拠点施設としての機能を充実させる。 <目標と広域的特定活動・拠点施設との関係> 高速道路を利用し訪れる観光客のアクセス強化による利便性の向上と拠点施設の充実が実現されれば、地理的優位性を活かした観光交流が促進され、食の安全が叫ばれる中で、これまで以上に地域の名産・特産品が脚光を浴び、拠点施設を中心にした経済活動も活発となり、地域の活性化が期待される。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容 <現況> 本地域の拠点施設では、地元の新鮮な農産品をはじめ、特産品・加工品を豊富に取り揃え、地域ブランドづくり(真岡市の木綿体験、益子町の陶器、茂木町のインディージアパン)に熱心に取り組んでいる。特に、いちご生産日本一を誇る二宮町を中心に地元生産者と連携した観光農園での体験観光は人気が高い。 <将来> 本地域では、「食」をメインテーマとして景観・歴史・文化などの地域資源を有機的に結びつける「食の街道」づくりとして「いちご街道(仮称)」づくりに着手したところであり、周辺拠点施設での「そば打ち体験」などとも連携し、周遊型体験観光へと新たな魅力づくりを図り、観光交流の促進による地域の活性化が期待される。			
広域的特定活動との関係 <拠点施設整備の蓋然性> 整備を必要としない既存施設 <拠点施設に設定した理由> 本地域は、芳賀郡内の4町から構成され、生活圏の上で密接なつながりがある。また、新たに開通した北関東東道真岡IC、桜川筑西ICからの観光客の周遊が見込まれ、高速道路網の整備とIC・観光拠点施設等とのアクセス強化により豊かな観光資源を活かした観光の振興が広域的に期待される。			
重点地区(設定する場合に記述) 			

拠点施設

施設名	県北地域の観光交流施設群	所在地	大田原市・さくら市・那須烏山市・那珂川町
設置主体	公共・民間・団体	管理・運営主体	公共・民間・団体
設置(予定)年月		拠点施設の区分	第二条第2項二
広域的特定活動の区分	第二条第1項口	拠点施設の整備の有無	有 ・ 無
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>本地域では、拠点施設となる三つの道の駅(那須与一の郷、きつれがわ、ばとう)があり、それらを拠点に年間660万人(H19/関係市町)の観光客入込数である。周辺には、那珂川などの清流や八溝山地帯などの雄大な自然や400年以上の歴史を持つ烏山の山あげ祭りをはじめとする豊富な歴史的・文化的観光資源がある。しかし、東北道や国道4号などの広域幹線道路からのアクセスの弱さから観光客入込数は伸び悩んでいる。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>本地域では、東北自動車道上河内スマートICのフル開通や黒磯板室ICの開通により高速道路網の利便性は向上し、これまで以上に広域的な交流が見込まれる。このため、基幹事業により高速道路ICから拠点施設や多くの観光資源へのアクセス・周遊道路の整備を実現することで、本地域の広域観光のさらなる振興が図られる。</p> <p><目標と広域的特定活動・拠点施設との関係></p> <p>本地域の豊かな自然と豊富な農産・水産物は二地域居住に代表される新たなライフスタイルを志向する都市住民に注目される中で、高速道路網の充実とそのアクセス強化による利便性の向上と拠点施設の充実が実現できれば、画期的に交流人口を拡大することができ、拠点施設を中心とした経済活動も活発となり、地域の活性化が期待される。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>本地域の拠点施設では、地元の新鮮な農産品をはじめ、清流那珂川の象徴である鮎などの特産品・加工品を豊富に取り揃え、拠点施設での体験観光など都市住民との交流活動に熱心に取り組んでいる。本地域の市町は、福島・茨城の八溝地域の市町と構成するFIT構想推進協議会において、県域を越えた観光施策に取り組む。</p> <p><将来></p> <p>本地域では、「食」をメインテーマとして景観・歴史・文化などの地域資源を有機的に結びつける「食の街道」づくりとして「そば街道(仮称)」や「鮎街道(仮称)」づくりに着手したところであり、これらの成果を拠点施設で体験できるとともにFIT構想推進協議会等を活用しながら県内外に情報発信することで更なる観光振興による地域の活性化へと結びつける。</p>			
広域的特定活動との関係			
<p><拠点施設整備の蓋然性></p> <p>整備を必要としない既存施設</p> <p><拠点施設に設定した理由></p> <p>本地域は、福島・茨城・栃木3県に跨る八溝地域の市町村で組織されるFIT構想推進協議会の構成自治体として広域観光の促進に対して一体的に取り組んでいる。また、今後、高速道路網の整備(上河内・那須スマートIC、黒磯板室ICの整備)と観光拠点施設等とのアクセス強化により豊かな観光資源を活かした観光の振興がこれまで以上に広域的に期待される。</p>			
重点地区(設定する場合に記述)			

広域的地域活性化基盤整備計画の整備方針と基本的な方針等との整合性

計画の整備方針		方針に合致する主要な事業	
豊かな自然・文化・歴史などを活かした観光振興を目指し、高速自動車網の整備に観光ネットワークの広域化・高速化を図る。		<input checked="" type="checkbox"/> ICと観光拠点施設等とのアクセス道路の渋滞緩和のための線形改良 <input checked="" type="checkbox"/> ICと観光拠点施設等とのアクセス道路の安全確保のための橋梁修繕事業 <input checked="" type="checkbox"/> ICと観光拠点施設等とのアクセス道路の安全確保のための舗装修繕事業 <input type="checkbox"/> ICと観光拠点施設等とのアクセス道路の渋滞緩和のためのバイパス整備 <input type="checkbox"/> 高速道路の利便性向上のためのスマートICやハイウェイオアシスの整備事業	
観光拠点施設である「道の駅」の新たな魅力を創出し、各地区での周遊観光の新たな展開を図る。		<input type="checkbox"/> 道の駅新たな魅力創出事業	
楽しい周遊旅行のコーディネイトとして機能できるように新たな情報発信活動を実施し、交流促進を図る。		<input type="checkbox"/> 食の回廊情報発信支援事業 <input type="checkbox"/> 道の駅周遊観光コーディネイト事業	
基本的な方針等との整合性(※1)			
区分	整合性等の有無	左記の理由等	
① 広域的地域活性化のための基盤整備に関する基本的な方針との適合の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	観光拠点に広域から来訪者を増加し、地域活性化を図るものである。	
② 国土形成計画、社会資本整備重点計画、環境基本計画との調和の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	「国土形成計画」第2部第3章第2節の観光振興による地域の活性化 「首都圏広域地方計画」第1部第2章第2節方針5(1)観光交流の強化	
③ 北海道総合開発計画、沖縄振興計画との調和の有無 (北海道及び沖縄のみ回答)	有 ・ 無		
④ その他の計画等との整合性の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	栃木県総合計画「とちぎ元気プラン」、栃木県観光振興計画	
⑤ 関係市町村への意見聴取の有無(※2)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	文書照会と文書回答方式	
⑥ 他の都道府県への意見聴取の有無(※2) (他の都道府県との境界にかかる計画の場合に回答)	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
広域地方計画協議会での取扱い(※3)	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
その他			

交付対象事業等一覧表

栃木県 北関東道及び東北道沿線地域 広域の地域活性化基金

交付対象事業費 (a)	3558	交付限度額(b)	1601.100	国費率 (b/a)	0.45
-------------	------	----------	----------	-----------	------

【基幹事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

(単位:百万円)

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)	交付期間		交付対象事業費	環境影響評価	
				開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	全体事業費	内事業費	うち官負担分		うち民負担分	対象有無
道路	舗装修繕	国道121号 鹿沼市 さつき町外		21	22	21	22	33	33	33	33	無	
道路	舗装修繕	国道123号 宇都宮市 鐘山外		21	22	21	22	50	50	50	50	無	
道路	舗装修繕	国道293号 那珂川町 矢又外		21	22	21	22	161	161	161	161	無	
道路	舗装修繕	国道294号 真岡市 島外		21	22	21	22	120	120	120	120	無	
道路	舗装修繕	国道352号 下野市 中大領外		21	22	21	22	44	44	44	44	無	
道路	舗装修繕	国道400号 大田原市 品川外		21	22	21	22	8	8	8	8	無	
道路	舗装修繕	国道408号 真岡市 長田外		21	22	21	22	66	66	66	66	無	
道路	舗装修繕	国道461号 大田原市 中田原外		21	22	21	22	38	38	38	38	無	
道路	舗装修繕	県道佐野田沼線 佐野市 吉水町外		21	22	21	22					無	
道路	舗装修繕	県道栃木粕尾線 栃木市 袴町外		21	22	21	22	16	16	16	16	無	
道路	舗装修繕	県道矢板那須線 矢板市 鹿島町外		21	22	21	22	70	70	70	70	無	
道路	舗装修繕	県道真岡上三川線 上三川町 上三川外		21	22	21	22	22	22	22	22	無	
道路	橋梁修繕	国道123号 宇都宮市 新鬼怒川橋		21	22	21	22	9	9	9	9	無	
道路	橋梁修繕	国道293号 栃木市 尻内橋外		21	22	21	22	4	4	4	4	無	
道路	橋梁修繕	国道294号 真岡市 御前歩道橋		21	22	21	22	27	27	27	27	無	
道路	橋梁修繕	国道400号 大田原市 千丈橋		21	22	21	22	30	30	30	30	無	
道路	橋梁修繕	国道461号 大田原市 下高橋										無	
道路	線形改良	国道352号 壬生町 藤井										無	
道路	線形改良	県道草久栗野線 鹿沼市 上五月										無	
道路	線形改良	県道下伊勢畑増井線 茂木町 林		21	22	21	21	94	94	94	94	無	
道路	線形改良	県道下大羽益子線 益子町 下大羽		21	22	21	21	26	26	26	26	無	
道路	バイパス	県道宇都宮亀和田栃木線 鹿沼市 北赤塚		21	22	21	21	30	30	30	30	無	
道路	道路情報板・標識・照明の更新	宇都宮市外		21	22	22	22	88	88	88	88	無	
基幹事業① 計								936	936	936	0	936	

【基幹事業②】地域自主戦略交付金対象事業

(単位:百万円)

事業	細項目	事業箇所名	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)	交付期間		交付対象事業費	環境影響評価	
				開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	全体事業費	内事業費	うち官負担分		うち民負担分	対象有無
道路	舗装修繕	国道121号 鹿沼市 さつき町外		23	25	23	25	141	141	141	141	無	
道路	舗装修繕	国道123号 宇都宮市 鐘山外		23	25	23	25	28	28	28	28	無	
道路	舗装修繕	国道293号 那珂川町 矢又外		23	25	23	25	275	275	275	275	無	
道路	舗装修繕	国道294号 真岡市 島外		23	25	23	25	32	32	32	32	無	
道路	舗装修繕	国道352号 下野市 中大領外		23	25	23	25					無	
道路	舗装修繕	国道400号 大田原市 品川外		23	25	23	25					無	
道路	舗装修繕	国道408号 真岡市 長田外		23	25	23	25					無	
道路	舗装修繕	国道461号 大田原市 中田原外		23	25	23	25	21	21	21	21	無	
道路	舗装修繕	県道佐野田沼線 佐野市 吉水町外		23	25	23	25					無	
道路	舗装修繕	県道栃木粕尾線 栃木市 袴町外		23	25	23	25	27	27	27	27	無	
道路	舗装修繕	県道矢板那須線 矢板市 鹿島町外		23	25	23	25					無	
道路	舗装修繕	県道真岡上三川線 上三川町 上三川外		23	25	23	25					無	
道路	橋梁修繕	国道123号 宇都宮市 新鬼怒川橋		23	25	23	25					無	
道路	橋梁修繕	国道293号 栃木市 尻内橋外		23	25	23	25					無	
道路	橋梁修繕	国道461号 大田原市 下高橋		23	25	23	25					無	
道路	線形改良	国道352号 壬生町 藤井		23	25	23	25					無	
道路	線形改良	県道草久栗野線 鹿沼市 上五月		23	25	23	25					無	
道路	線形改良	県道下伊勢畑増井線 茂木町 林		23	25	23	25					無	
道路	線形改良	県道下大羽益子線 益子町 下大羽		23	25	23	25					無	
道路	バイパス	県道宇都宮亀和田栃木線 鹿沼市 北赤塚		23	25	23	25					無	
道路	道路情報板・標識・照明の更新	宇都宮市外		23	25	23	25	200	200	200	200	無	
基幹事業② 計								724	724	724	0	724	

基幹事業(A) = 基幹事業① + 基幹事業② 1,660

【提案事業①】社会資本整備総合交付金対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内		交付対象 事業費	事業収益の 有無
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分		
事業活用調査														
地域自立・活性化 活動推進事業														
地域自立・活性化 基盤整備支援事業	道の駅新たな魅力創出事業	道の駅「もてぎ」、「きつれがわ」、「たぬま」外4道の駅	県	直	7	21	22	21	22	59	59	59	59	無
合計										59	59	59	0	59

【提案事業②】地域自主戦略交付金(仮称)対象事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体	交付期間内		交付対象 事業費	事業収益の 有無	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	事業費	事業費	うち官負担分			うち民負担分
事業活用調査	道の駅周辺観光コーディネート事業	県内各道の駅	県	直	4	24	25	24	25	0	0	0	0	0	無
地域自立・活性化 活動推進事業	食の回廊情報発信支援事業	県内各道の駅	県	直	19	24	25	24	25	9	9	9	0	9	無
地域自立・活性化 基盤整備支援事業	道の駅新たな魅力創出事業	道の駅「もてぎ」、「きつれがわ」、「たぬま」外4道の駅	県	直	7	23	25	23	25	40	40	40	0	40	無
合計										49	49	49	0	49	

提案事業(B) = 提案事業(1) + 提案事業(2) 108

交付対象事業費(基幹事業(A) + 提案事業(B))	1,768
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	995
うち、地域自主戦略交付金(仮称)対象事業 計	773

(参考)関連事業


事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
上河内スマートIC事業	東北自動車道 上河内SA		国土交通省	SIC設置				○	19	21	750
佐野スマートIC事業	東北自動車道 佐野SA		国土交通省	SIC設置				○	20	23	900
まちづくり交付金	北関東道壬生SAハイウェイオーシャン	壬生町	国土交通省	交流施設		○			16	20	1400
社会資本整備総合交付金	国道293号鹿沼南BP	県	国土交通省	4.8km	○				9	25	7400
社会資本整備総合交付金	国道123号茂木BP	県	国土交通省	3.7km	○				4	25	10500
社会資本整備総合交付金	県道上久我都質栃木線	県	国土交通省	0.3km	○				21	22	320
社会資本整備総合交付金	県道上田壬生線	県	国土交通省	0.8km	○				19	23	400
社会資本整備総合交付金	県道宇都宮笠間線	県	国土交通省	0.8km	○				19	22	500
国庫補助道路改築	国道293号大月拡幅	県	国土交通省	1.7km	○				8	23	6000
社会資本整備総合交付金	県道田沼インター線	県	国土交通省	0.7km	○				13	22	1860
合計											30,030

拠点施設・重点地区


※複数の拠点施設が離れている場合は、適宜追加する。

安足地域の観光交流施設群	面積	85km ²	所在地	足利市・佐野市・栃木市・岩舟町	重点地区	有(無)
--------------	----	-------------------	-----	-----------------	------	------


道の駅どまんなかたぬま
(拠点施設)

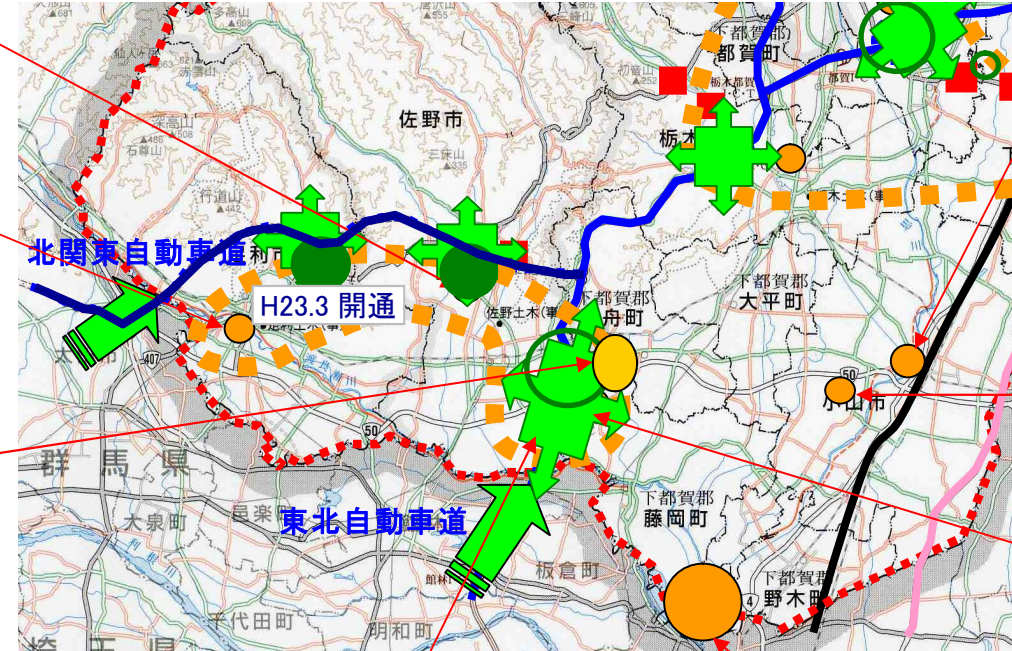


足利学校(拠点施設)
周辺の饅阿寺も含み歴史文




県営みかも山公園(拠点施設)







清流思川と小山城址公園
各種イベントが開催され、東京圏から
多数の観光客が訪れる。



道の駅思川




道の駅みかも(拠点施設)首都圏を含
めた広域防災機能を有する





凡例

- 拠点地域
- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- 高速自動車道
- 高速自動車道(事業中)
- 東北新幹線

佐野プレミアムアウトレット(拠点施設)
県外からたくさんのお客様で賑う



渡良瀬遊水地(拠点施設)
首都圏のオアシスとして自然
を楽しんだり多様なスポーツ

拠点施設・重点地区

※複数の拠点施設が離れている場合は、適宜追加する。

下都賀地域の観光交流施設群	面積	168km ²	所在地	栃木市・下野市・西方町・壬生町・都賀町	重点地区	有(無)
---------------	----	--------------------	-----	---------------------	------	------

出流山満願寺 出流川最上流部にあり、周辺の植物園や遺跡

壬生ハイウェイオアシス H(拠点施設)

とちぎわんぱく公園

インターパーク宇都宮南

道の駅しもつけ(拠点施設)

道の駅にしかた (拠点施設)

蔵の街とちぎ (拠点施設) 巴波川や大通りに並ぶ蔵の街並みを楽しむ。山車が練り歩く秋祭りには多くの観光

しもつけ風土記の丘 国指定文化財「下野国分寺」「国分尼寺」を中心に資料館・公園を併設

凡例

- 拠点地域
- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- 高速自動車道
- 高速自動車道(事業中)
- 東北新幹線

拠点施設・重点地区

※複数の拠点施設が離れている場合は、適宜追加する。

鹿沼・宇都宮市の観光交流施設群	面積	139km ²	所在地	宇都宮市・鹿沼市	重点地区	有(無)
-----------------	----	--------------------	-----	----------	------	------

前日光つつじの湯交流館(拠点施設) 豊かな自然に囲まれ、物販、農林業体験までできる。



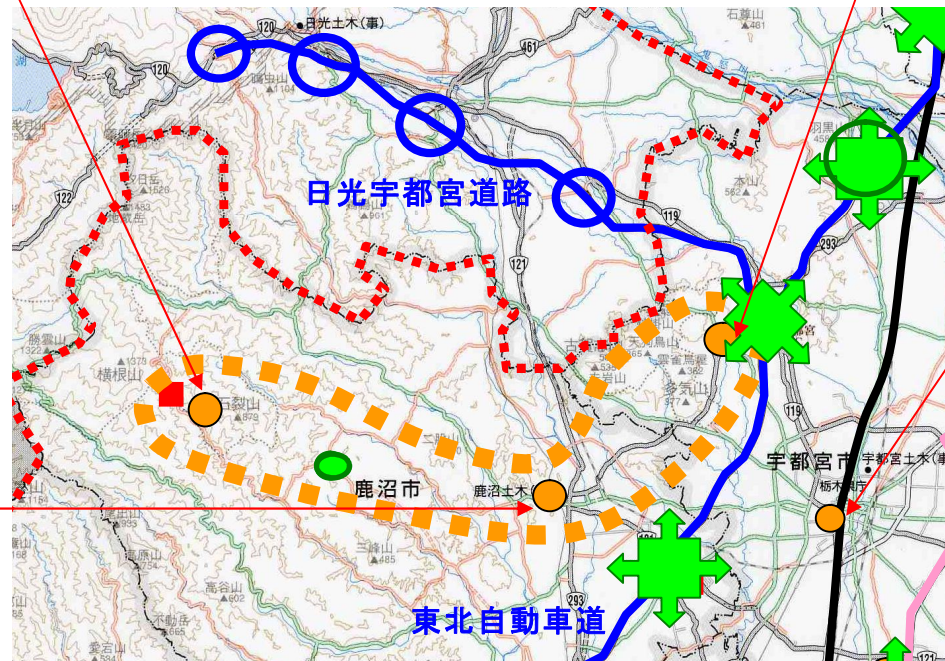
鹿沼市屋台行事(国指定民族文化財)



うつのみやろまんちっく村(拠点施設)



宇都宮市城址公園 餃子・jazzのまち宇都宮の街中



- 凡例**
- 拠点地域
 - 拠点施設
 - 基幹事業
 - 関連事業
 - 高速自動車道
 - ... 高速自動車道(事業中)
 - 東北新幹線

拠点施設・重点地区

※複数の拠点施設が離れている場合は、適宜追加する。

芳賀地域の観光交流施設群	面積	135km ²	所在地	益子町・茂木町・市貝町・芳賀町	重点地区	有(無)
--------------	----	--------------------	-----	-----------------	------	------

道の駅はが(拠点施)

市貝町芝桜公園(拠点施設)

鬼怒川サイクリングロード

ツインリンク茂木(拠点施設)

五行川サイクリングロード

道の駅「もてぎ」(拠点施設)

道の駅「にのみや」(拠点施設)

SLで有名な真岡鉄道「真岡駅」と街中周遊の拠点「木綿工」

益子の陶器市

凡例

- 拠点地域
- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- 高速自動車道
- 高速自動車道(事業中)
- 東北新幹線

道路現況表 (平成18年4月1日現在)

道路種別	実延長(km)	改良延長(km)	改良率(%)	舗装延長(km)	舗装率(%)
高速自動車道	134.0	134.0	100.0	134.0	100.0
一般国道	894.9	98.6	904.3	99.7	
指定道	100.0	199.4	100.0	100.0	
市町村道	98.2	705.0	98.6		
県主道	1,068.0	84.4	2,753.9	96.1	
市町村道	1,228.0	90.9	1,355.7	99.1	
計	1,407.5	1,129.5	96.6	1,129.5	99.9

拠点施設・重点地区

※複数の拠点施設が離れている場合は、適宜追加する。

県北地域の観光交流施設群	面積	162km ²	所在地	大田原市・さくら市・那須烏山市・那珂川町	重点地区	有(無)
--------------	----	--------------------	-----	----------------------	------	------

黒羽観光やな(那珂川)

塩谷町尚仁沢 名水百選に選

なかがわ水遊園

鬼怒川グリーンパーク

道の駅那須与一の郷(拠点施設)

道の駅ばとう(拠点施設)

山あげ祭り
那須烏山市

道の駅きつれがわ(拠点施設)
荒川、内川の合流点にあり、河川の
防災基地を併設。防災拠点化を図

那珂川町の清流那珂川と日光連山(拠点施設)
温泉もあり、二地域居住による定住対策にも取り組

凡例

- 拠点地域
- 拠点施設
- 基幹事業
- 関連事業
- 高速自動車道
- 高速自動車道(事業中)
- 東北新幹線

栃木県全地域 整備方針概要図

目標	高速道路のICへのアクセス道路の整備と観光拠点となる道の駅の機能強化を実施し、広域化・高速化を活かした安全・安心・快適な観光ネットワークを形成し、新たな観光振興による地域活性化を図る。	代表的な指標	観光客入込数(万人)	5,336(H19年度)	→	5,800(H26年度)
			道の駅での売上げ額(億円)	50(H26年度)	→	60(H26年度)
			()	(年度)	→	(年度)

■ 長寿命化国道400号大田原市千丈橋外

■ 舗装修繕県道矢板那須線矢板市鹿島町外

■ 舗装修繕国道121号鹿沼市さつき町外

○ 線形改良県道上久我都賀栃木線鹿沼市笹越路

■ 道路改築県道草久栗野線鹿沼市上五月

○ バイパス国道293号鹿沼市鹿沼南BP

■ バイパス県道宇都宮亀和田栃木線鹿沼市北赤塚

○ 線形改良県道上田壬生線壬生町福和田

■ 線形改良国道352号壬生町藤井

■ 耐震補強国道293号栃木市尻内橋外

■ 舗装修繕県道栃木粕尾線栃木市梓町外

■ 舗装修繕県道佐野田沼線佐野市吉水外

○ IC取付道路拡幅整備国道293号

○ IC取付道路整備県道田沼インター線

○ 東北道佐野スマートIC設置事業

■ 舗装修繕国道461号大田原市中田原外

■ 舗装修繕国道400号大田原市品川外

○ 東北道上河内スマートIC設置事業

■ 交通安全施設 国道119号外 宇都宮市外

■ 舗装修繕国道293号那珂川町矢又外

■ 耐震補強国道123号宇都宮市新鬼怒橋

■ 舗装修繕国道123号宇都宮市鑑山外

■ 舗装修繕県道真岡上三川線上三川外

■ 舗装修繕国道352号下野市中大領外

■ 舗装修繕国道408号真岡市長田外

■ 道路改築下伊勢畑増井茂木町林

○ バイパス国道123号茂木町茂木BP

○ 線形改良宇都宮笠間線益子町鑽石

■ 道路改築県道下大羽益子線益子町下大羽

■ 舗装修繕国道294号真岡市島外

■ 橋梁修繕国道294号真岡市御前歩道橋

**○ 提案事業 県内各道の駅の駅周遊観光コーディネート事業
道の駅新たな魅力創出事業**

事後評価

1.事後評価の実施体制・実施時期

○実施体制

計画策定主体(道路整備課、道路保全課)にて評価を実施

○事後評価の実施時期・公表方法

平成27年9月

栃木県県土整備部道路保全課ホームページにおいて公表

2.事業効果の発現状況、目標値の達成状況

○定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度	実績値	目標年度
観光客入込数	万人	計画地域に来訪した観光客数	観光の活性化を目指す指標として入込客数を設定	5,336	H19	5,800 6,180	H26
道の駅での売上げ額 ^{※1}	億円	計画地域の道の駅での売上げ	交流促進による地域の活性化の指標	50	H19	60 —	H26
道の駅利用客数 ^{※2}	万人	計画地域の道の駅利用客数	交流促進による地域の活性化の指標	671	H19	805 1,507	H26

※1 道の駅での売上げ額についてH22以降公表していないことから、実績値の把握ができないため、利用客数で評価を実施

※2 売上げ目標値が1.2倍(H26/H19)であることから、利用客数目標値をH19の1.2倍で設定

○目標値と実績値に差が出た要因

- 計画地域への観光客入込客数については、目標値5,800万人に対して、実績値6,180万人と目標を達成した。
H23.3 東日本大震災の影響により一時入込数は減ったものの、北関東自動車道開通・スマートICの供用、それに併せたアクセス道路の走行性が向上したことが目標を上回る要因であると思われる。
- 道の駅利用客数については、目標値805万人に対して、実績値1,507万人と目標を達成した。
計画地域内に新たな道の駅が6箇所誕生したことや、道の駅を拠点とした観光情報を県内外に発信したこと、快適な観光ルートを確認したことが目標を上回る要因であると思われる。

○特記事項(今後の方針等)

- 今後も、道路施設を定期的に点検、管理を行い、安心・安全で快適な観光アクセスを維持していくことで、本地域の活性化を図っていく

